

“災害時の要援護者に対する支援” セミナー（案） —東北から神戸に—

主催：

神戸大学大学院保健学研究科地域連携センター

神戸大学都市安全研究センター

後援：神戸市教育委員会、神戸市社会福祉協議会

1. 目的 「災害時・後に困難をかかえる子どもやその周囲の人々への支援を考える」
2. 日時 平成 25 年 2 月 24 日（日）13 時 30 分～17 時（受付開始 13 時 00 分）
3. 会場 ラッセホール・サンフラワー
<http://www.lassehall.com/hall/access/index.html>
 兵庫県神戸市中央区中山手通 4-10-8
 078-291-1117
4. プログラム

	内容	演者
13 : 00～13 : 30	受付	—
13 : 30～13 : 50 (20 分)	災害と要援護者 ～阪神・淡路大震災の経験は活か されたのか？～	高田哲 神戸大学大学院保健学研究科 教授
13 : 50～14 : 10 (20 分)	災害と要援護者 ～福島県での活動～	宮田広善 姫路市総合福祉通園センター 所長
14 : 10～14 : 40 (30 分)	災害が起きても生きぬくために ～要援護者避難支援プランと 福祉避難所について～	田中総一郎 東北大学医学部 准教授
14 : 40～15 : 10 (30 分)	震災以後の石巻の子どもたち	菅井裕行 宮城教育大学教育学部 教授
15 : 10～15 : 20 (10 分)	休憩	—
15 : 20～15 : 50 (30 分)	震災等で家族をなくした子ども と保護者のピアサポート	西田正弘 子どもグリーフサポート ステーション・てとてとてとて 代表
15 : 50～16 : 20 (30 分)	被災地における被災者および 支援者のストレス ～発災から 1 年半後の現状～	瀬藤乃理子 甲南女子大学看護リハビリテ ーション学部 准教授
16 : 20～17 : 00 (40 分)	意見交換（演者全員）	司会：松田宣子*・滝口哲也**) * 神戸大学大学院保健学研究科教授 ** 神戸大学都市安全研究センター 准教授